

株式会社酒井商會

「日本一のあいさつができる会社を目指して」

[小売業・サービス業]
自動車販売・修理
保険代理業

代表者名：代表取締役 酒井志郎

従業員数：16人

創業：明治43年

住所：須坂市高梨町2535

TEL：026-245-0397

事業内容：自動車及び車両一般並びに部品の購入
自動車販売と修理、自動車用品の販売
自動車のリース業、損保保険代理業
生命保険募集に関する業務

給与：15万～23万

<http://www.sakai1910.co.jp/>

「いらっしゃいませ！」ショールームに元氣よく明るい声が響き渡るこの会社は、須坂市高梨町にあるカーディーラーの酒井商會です。創業は明治43年と歴史は古く、当初は自転車の販売店として始まりました。現在は自動車販売や修理、車両リース、保険代理業など時代の流れに合わせた経営を行っています。



4代目で社長の酒井志郎さんは現在52歳。社員16人とともに「心と心のふれあい」をモットーに日本一の笑顔とありがとうの集まる店を目指し、日々の仕事に取り組んでいます。笑顔いっぱいであげてくれた酒井社長に職場の様子について話を聞きました。



●基本はあいさつから

酒井社長が心掛けている社員教育の一つが「あい

さつ」で、社員が自然と笑顔になる朝礼に特長があります。「おはようございます」の言葉とともに「エイ！」の掛け声で始まる朝礼は、握手やハイタッチをして活気あふれる時間を全員で共有します。経営理念を唱和し冊子「職場の教養」を読んで感想を述べ合うなど、気持ちを一つにするチームワークづくりを大切にしています。特色ある酒井商會の「活力朝礼」は県内外に広まり、これまで60社ほどの企業が視察に訪れているそうです。



酒井社長は、近年問題になっている子どもの不登校や自殺問題などに思いを巡らせることもあり、自分に何ができるのだろうかと考えた答えはやはり「あいさつ」だったとのこと。「あいさつをしない子どもに会うと心が折れそうになります。あいさつは相手の存在を認めること。子どもたちを取り巻く社会問題も、気持ちの良いあいさつを実践する大人たち次第で状況を変えられるのではないのでしょうか」大人が変われば子どもが変わるのだと酒井社長は感慨深げに話してくれました。

●日々学び続ける会社

酒井商會は「日本で一番の笑顔とありがとうの集まるリゾートカーディーラー」を目指しています。リゾートカーディーラーとは「考えただけでワクワク笑顔になる」「ずーっといたい」「何度でも行きたくなる」リゾートのような職場を意味します。毎日の元氣な朝礼が社員同士のコミュニケーションづくりに役立ち、それが自然とお客様への対応にも繋がっています。

酒井商會は平成25年に感動物語コンテスト全国大会に出場し見事グランプリを受賞しました。この



コンテストは、今よりもさらに人を大切にする会社へ進化するきっかけになることを願い、平成20年から毎年開催されています。以前、酒井商會では、お客様に重い病気の家族がいたことから、社員が一丸となって千羽鶴を折り、朝礼でも回復を祈り続けました。お客様の悩みを自分たちの事のように受け止め行動するという心温まるエピソードを発表し、多くの感動を与えグランプリに輝きました。



酒井社長は社員同士で学び合うことも重要だと考えています。酒井商會には「ありがとうカード」というものがあり、社員がお互いに感じた「ありがとう」の感謝の気持ちをカードに書く取り組みをしています。社員教育の一つとして気付き力のトレーニングにもなっています。また、学べる映画があれば社員で共有しようと鑑賞を課題にするなど、常に人間力を高めることを心掛けています。

●地域を元気にする取り組み

「私たちが元気に笑顔であいさつすることで、生きる素晴らしさを感じてくれる人々がいます。その人々のためにも無くてはならない会社であり続けたいですね」酒井社長は今後もあいさつを基本とする取り組みを大事にしていきたいと話してくれました。

酒井商會では中学生の職場体験を積極的に受け入れています。男の子には車整備の一環で1週間で洗車のプチ達人になってもらいます。ご両親など大切な人の車をきれいに洗車し感動させてあげてほしいというのが狙いです。酒井商會で職場体験を終えた中学生の保護者からは、子どもが自然とあいさつができるようになったというお礼の手紙をもらうこともあるそうです。

また、酒井社長は市内の保育園や小中学校、警察

学校などに出向き、あいさつの大切さ(意味・意義)を伝えようと講演活動も行っています。子ども向けには、戦隊ヒーローを登場させ寸劇で楽しく伝える工夫もしています。5人のヒーローはその名も常笑(じょうしょう)戦隊サカレンジャーです。このようなユニークなアイデアからも酒井商會の明るい雰囲気わかります。



●求める人材

酒井社長は、やる気と素直さのある人材を求めたいと答えてくれました。酒井商會では年に一度、社内ですmile大賞やMVPの表彰を行っています。その他にも大事なイベントとして「サカイ大家族誕生日会」を毎月開催していて、サポーター(取引業者)を含めて当月に誕生日を迎える人たちをお祝いするそうです。

「何事も取り組むことに無理、無駄というのはないと思います。結果が出なくても、それは失敗ではなく成長や成功にしか繋がりません」そう話す酒井社長は、自身も自己向上のために研鑽を積み、平成29年3月に長野県が進めている信州おもてなしマイスターの認定を取得しました。

これはお客様に対するおもてなしの心を牽引するリーダーを養成し、中核となり得る人材に与えられる認定証です。取得するまで一年間かけて講座を受講し、その修了者から選ばれた認定です。このことから酒井商會をよりよい会社にしようとする酒井社長の努力と深い思いを感じます。



心の通った挨拶と常に感謝の気持ちで進化し続ける酒井商會で、あなたも笑顔になって働いてみてはいかがでしょうか。(2017年8月インタビュー)